

議 案 提 出 書

件 名 社会基盤の再構築を求める意見書（案）

上記の議案を別紙のとおり、長野市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成24年6月21日

長野市議会議長 柘 津 栄 喜 様

提出者	長野市議会議員	小 林 治 晴
賛成者	長野市議会議員	小 泉 栄 正
	同	勝 山 秀 夫
	同	田 中 清 隆
	同	阿 部 孝 二
	同	松 田 光 平
	同	松 木 茂 盛
	同	竹 内 重 也

社会基盤の再構築を求める意見書（案）

我が国では、昭和30年代に始まった高度経済成長期から道路や橋りょう、上下水道施設などの社会基盤の整備が急速に進みました。国土交通省の道路橋の予防保全に向けた有識者会議は、平成20年の提言の中で、当時建設された橋りょうについては、建設後40年から50年経過することから、劣化損傷が多発する危険性が高まっていると指摘しています。

今後、首都直下地震や東海・東南海・南海地震、さらに本市においては、糸魚川・静岡構造線断層帯による地震などの発生が懸念される中、防災機能の強化の観点からも社会基盤の老朽化対策は喫緊の課題です。併せて、災害時に避難施設となる公共施設やけが人の手当てを行う病院、災害弱者が利用する社会福祉施設などは、更なる耐震化を進める必要があります。

こうした課題に対し、社会基盤の老朽化対策と公共施設などの耐震化対策等に積極的に取り組むことで、都市の防災機能はより一層強化されます。

一方で、現在、景気と雇用情勢は、長引くデフレと急激な円高によって極めて厳しい状況が続いていますが、社会基盤の再構築に伴う需要の創出により、これらの回復も期待できます。

よって、国におかれては、下記の措置を講じられるよう強く要請し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

記

- 1 道路や橋りょう、上下水道施設など、老朽化が進み更新時期が近づいている社会基盤の点検を促進し、維持更新のための公共投資を積極的かつ集中的に行うこと。
- 2 電気、ガス、上下水道、通信などのライフラインの共同溝化、無電柱化を促進し、都市の防災機能の強化を図ること。
- 3 地域の安全・安心のために、学校等の公共施設や病院等の社会福祉施設など、地域の防災拠点の耐震化と機能の強化を促進すること。

平成24年 6 月 22 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
国土交通大臣
経済産業大臣
厚生労働大臣
文部科学大臣
農林水産大臣

宛

長野市議会議長 柘 津 栄 喜